

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2022年12月 7日にパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

区分 I: 該当なし

区分 II: 該当なし

区分 III: 該当なし

その他: 4 件

NO.	号機等	不適合件名	グレード	発見日
1	1・2号廃棄物処理設備	洗濯設備蒸発缶(A)液位計(G14-LT290A)において、洗濯設備濃縮器(A)の温度を上げている際に液位の変動が無いにも関わらず液位指示値が62%→80%に変動したことが認められたため、当該液位計を点検・修理。	GⅢ	12月3日
2	1・2号廃棄物処理設備	濃縮廃液ポンプ(A)を運転した際に、「HCWシール水ポンプ出口導電率高」の警報が発生したことから、濃縮廃液ポンプ(A)の廃液が軸封水部からシール水側へ流れていることが認められたため、軸封水部を点検・修理。	GⅢ	12月4日
3	3・4号廃棄物処理設備	焼却設備二次セラミックフィルター(D)差圧計元弁(L)(G81-F746D)において、差圧計の指示が0.00kPaであったことから当該弁を確認したところ、弁固着により全閉位置から2/3回転しか開側へ操作できないことが認められたため、当該弁を点検・修理。	GⅢ	12月2日
4	3・4号廃棄物処理設備	低電導度廃液系・高電導度廃液系・除染廃液系・シャワードレン系サンプポンプ運転記録計(G11-R002)において、指示値が乱れて印字されることが認められたため、当該記録計を点検・修理。	GⅢ	12月5日